

2024年度 一般選抜「期試験」解答例

国語総合(古文・漢文を除く) 長岡崇徳大学看護学部看護学部

解答例(記述問題は、内容により部分点あり)

第1問

問一 A 長 B 翻訳 C 独力 D 利己 E 浪人 F 絶対

問二 本来の意味…情けをかけるということは人のためではない。自分のためだ。

誤解…情けをかけるということは人のためにならない

問三 「文語的な言い回しに慣れない子供などの場合」と「多少とも文語的表現になじみのできる年齢に達した場合」

問四 人に情けをかけるという行為は本来すぐれて人道的な心情に発すべきものであって、

自分のためといった利己的な目的に出るものであってはならない、と彼らは考える(から) 75字。

問五 人のためになるものではない

問六 1

問七 先代三遊亭金馬が、落語「佃島」の中で、「情けは人のためならず、めぐりめぐりて己が身のため…」というまくらで始めたという例。

第2問

問一 ① 法廷 ② 感嘆 ③ とっさ ④ じみ ⑤ 虚飾 ⑥ やゆ

問二 所長のH判事の言葉にあるように、頭が堅い書記官諸氏の思考を柔軟にするという再教育の意味を込めて、あえて「初恋」という題を作文の表題に用いた。

問三 最高裁書記官研修所に集う現職書記官を相手に行う授業は厳粛であり、私語はおろか他所見をする者さええないような状況であった。このように、職業柄、習慣化してしまっているようなことは、自然と身について、ついにはその人の生まれつきの性質のようになるということ。

問四 そんなわけ

第3問

A 読み…こりつむえん

意味…一人ぼっちで誰の助けもないこと。

B 読み…いっしんふらん

意味…一筋に心を込めて打ち込むこと。

C 他人から何度も聞くよりも、自分の目で実際に見るほうが確かである。

D 熟達した人は道具の良し悪しを問題にしない。

E 森鷗外